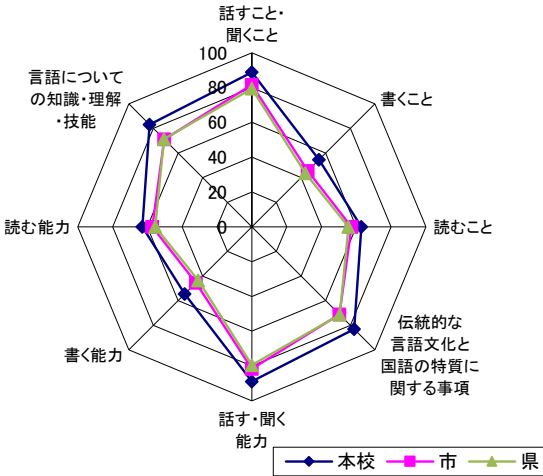


宇都宮市立富士見小学校 第4学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	話すこと・聞くこと	88.8	81.6	79.4
	書くこと	54.6	45.4	43.6
	読むこと	62.9	57.2	55.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	83.1	71.1	71.4
観点	話す・聞く能力	88.8	81.6	79.4
	書く能力	54.6	45.4	43.6
	読む能力	62.9	57.2	55.5
	言語についての知識・理解・技能	83.1	71.1	71.4



★指導の工夫と改善

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○本領域の平均正答率は、88.8%で県の正答率を9.4ポイント上回った。 ○「理由を挙げながら筋道を立てて話す」の正答率は88.8%であり、県の正答率を8.9ポイント上回っている。 ●「理由を挙げながら筋道を立てて話す」の無回答率が1.7%で、県の無回答率を0.1ポイント上回った。 理由を挙げながら筋道立てて話す力にばらつきが見られる。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・理由を挙げながら、相手に伝わるよう順序立て、筋道立てた話し方を今後も繰り返し指導するなど、全体に対する話し方を身に付ける指導を充実させる。
書くこと	○本領域の平均正答率は、54.6%で県の正答率を11ポイント上回った。 ○「メモを基に、報告レポートに適切な内容を書き入れる」では39.7%で県の正答率を12.8ポイント上回った。 ○「メモや友達の意見を基に、報告レポートの内容を書く」では、44.8%で県の正答率を10.8ポイント上回った。 ●他領域に比べ、無回答率が高く、書くことに抵抗を感じている児童が多い。	・問題文や資料を分析し、必要な情報を探す練習を何度も繰り返し、さらに、見つけた言葉を組み立てて文章にする指導を充実させる。
読むこと	○本領域の平均正答率は、62.9%で県の正答率を5.7ポイント上回った。 ○「読むこと」のどの内容についても県の正答率を3.5～12.4ポイント上回っている。 ●「叙述を基に、登場人物の気持ちを想像して読む」では、上位層と下位層の差が大きい。	・引き続き読書活動を推進し、さまざまな分野の文章に触れる機会を作る。 ・登場人物の気持ちを読み取るためのキーワードに着目させ、そこからどのように想像したらよいかを丁寧に個別指導する。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○本領域の平均正答率は、83.1%で県の正答率を11.7ポイント上回った。 ○すべての内容において、県の正答率を10ポイント以上上回った。 ●「漢字の書き(えんそく)」「日常使われている簡単な単語のローマ字による書き方」では、上位層と下位層の差が大きく、さらに他の問題に比べても正答率が低い。	・漢字の読み書きについては、繰り返し学習し、漢字テストなどを通してチェックをしながら基礎・基本の定着を図る。 ・ローマ字については、ワークシートを活用したり、他教科でパソコンを使用するときにローマ字で文字を打ったりするなど、繰り返し指導を行う。